

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

大学広報誌 エピストゥラ

Epistula

summer
2015

特集

社会人力UP 3コース始動

～情報コミュニケーション学科～

NEW FACES!



〔表紙モデル〕情報コミュニケーション学科2年：高田歩さん、井上千春さん、安達光梨さん、近藤みちるさん

vol. 39

社会人力UP 3コース始動

情報コミュニケーション学科

情報コミュニケーション学科は今年度、心理スポーツコース・地域ビジネスコース・情報メディアコースの3コースに改編しました。特色あるコースそれぞれで、主体性、協調性、論理性に富んだ「社会人力」を養成します。

心身の健康と人間関係構築の技能を修得

発達心理学、臨床心理学、社会心理学、教育心理学など、職場や家庭・学校や地域生活に役立つ「心理学」を本格的に学習します。また、健康や体力を高める「スポーツ学」についても学びます。講義だけでなく、実習や演習を通して、人間関係に必要な対人コミュニケーションスキルを育成します。



グループワーク論・対人スキルの育成



スポーツの分析と評価・運動を科学的に分析

地域ビジネスコース COMMUNITY AND BUSINESS

社会参加を通して 地域づくりの力を養う

社会の変化とその問題点を社会学の視点で考え、家族・地域・職場といった私たちの身近な現場に即しながら学んでいきます。また企業が必要としている能力やスキル、地域ビジネスのあり方などを指導します。地域社会特講や現場で地域社会の姿を実地に学ぶサイバースラーニング等の学外研修、卒業研究などを通じ、新たな創造に参加していく力を養います。



地域社会特講・地域で活躍する人々から学ぶ



地域づくり論・まちづくりの事例を学ぶ

情報メディアコース INFORMATION SCIENCE AND MEDIA

パソコン、メディアの 専門知識を高める

高度情報化を踏まえ、パソコンとメディアを活用する力をつける教育を行います。膨大な情報から正しい情報を読み取る情報リテラシーをはじめ、SNSなどを活用する能力、ネットを使用して情報発信する能力を実践的に育成します。また、携帯アプリケーションの開発や携帯端末などに使われるAndroidプログラミングについても学びます。



映像編集演習・動画を使って情報発信



プログラミング演習・スマホで使えるアプリを作る

心理スポーツコース PSYCHOLOGY AND SPORTS

地域活性化や継続のノウハウを伝授



情報コミュニケーション学科

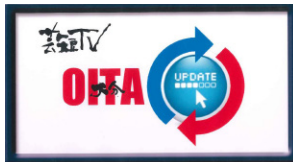
竹内 裕二 准教授

地域経営論、社会起業論、地域ビジネス論の講義を担当します。私は、これまで地域活性化という視点からまちづくりに関するNPO活動や学術研究を通じて国内外の地域経営に携わってきました。通常では与えてもらえない環境に身を置けたことに感謝しています。次は、私の知り得た知見や経験を次世代の人々に伝え、現実社会で活かしてもらうお手伝いを社会貢献という形で教育と実践活動の立場で恩返ししていきます。

私は、これまで数多くの組織体を立ち上げ、いずれの組織も10年以上経営させることができ、数多くの成功と失敗を経験しました。この経験を通じて、継続させることの難しさを痛感しました。私は、学生だけでなく幅広い人々にに対し、経営に欠かすことのできない「継続させる考え方とノウハウ」を伝承していきたいと考えています。さらに、この動きが、本学の推し進める社会人基礎力を培う肥やしになればと期待しながら、これから自分自身が行う活動が社会のお役に立てられるものになるよう努めてまいります。

表紙の顔

本広報誌の表紙モデルは、各学科から「頑張っている学生さん」に登場してもらっています。今回は、情報コミュニケーション学科2年の高田歩さん、井上千春さん、安達光梨さん、近藤みちるさんです。4人は映像メディアゼミに所属し、6月開局予定の「芸短TV OITA UPDATE」を制作しています。インタビューを基本とした、発展する大分の今を伝えるWeb TVです。「多くの人にわかりやすく情報を発信していきたい」と語り、真剣な眼差しで制作に打ち込んでいます。



学生と知的財産に関わる幅広い活動



情報コミュニケーション学科

野田 佳邦 講師

大分市出身。大阪大学大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻修士。修士(情報科学)。国家公務員一種職員として特許庁に入庁。IT分野の特許審査を行う審査官として11年間在職しました。その間、修士(経営学)の取得、東京大学法学部聴講生なども経て、2012年に弁理士試験に合格。情報・知財・経営・法律の領域を専門としています。地域活性化のための知的財産活用方法、ITと知的財産、情報モラル、知的財産教育等につ

いて考えていきたいと思っています。単なる情報機器の操作だけではなく、情報とビジネスの関連性、他者の知的財産の尊重、法律等のルールの順守といった社会人に求められる情報リテラシーを身に付けられるような講義を行いたいと思います。また、他学科も含めた学生有志を募りデザインパテントコンテストへ応募する企画や、知的財産をテーマとした講義、産学官連携における知財マネジメントなど、知的財産に関する知見を活かした幅広い活動を行っていききたいと考えています。

限られた時間で効果的な英語を指導



国際総合学科

大木 正明 准教授

英語関連科目を担当します。学生のころは「文学」を研究していましたが、工学系の前任校で英語教育研究の必要性を痛感し、現在では英語教育を中心に研究しています。具体的には、映画を中心とした映像教材をとおして、学生の皆さんに興味を持ってもらい、同時に、ボキャブラリーの増強、英文の構造理解、異文化理解などを学んでもらいたいと考えています。

本学では、限られたタイムスパンの中で学生の

中国語を起点に学生と日中友好模索



国際総合学科

許 挺傑 講師

中国語・中国文化を担当します。中国南部・浙江省出身です。天津師範大学で日本語を専攻。その後、筑波大学に留学し、外国語教育や中日異文化コミュニケーションなどを研究しました。趣味はバスケットボールです。きっかけは子供の頃に見たあの日本の名作、「スラムダンク」です。愛国教育(日本の視点から見れば反日教育ですが)を学校などで受け、それでもなお日本に対して強い関心を持っていたのは、アニメなどに代表される日本のサブカル

チャーの影響が大きいと考えます。そのような素晴らしいサブカルチャーの創造と発信には、芸術や文化などを学ぶ学生の力が大いに必要とされます。皆さんには、ぜひとも自分たちの学びに対して、誇りと夢を持って「所懸命取り組んでもらいたい」と思います。本学では、隣国中国とどのように付き合っていくべきか、その土地に暮らす人々の生活・文化・経済活動が日本にどのような影響を及ぼしているかなどを、中国語の勉強を起点に学生と一緒を考えていきたいと思っています。

留学生5名が頑張っています！

本学では毎年、江漢大学から留学生を受け入れています。今年度は5名が日本語能力試験をはじめ、国際総合学科で日々頑張っています。そんな留学生たちからの一言コメントです！



潘俊雅 (はんしゅんがさん)

日本語(伝統文化、簿記など)について学びたいです。卓球やバドミントン、ランニングなど身体を動かすことも得意です！

姚晶晶 (やうしゅうしんがさん)

ネコ好きです！日本人はネコ好きが多いので気が合います。本学では将来の道を選択するために英語、秘書、簿記なども勉強したいです。

周晨萱 (しゅうしんがさん)

日本人の日常生活など日本に関するいろいろなことに興味があります。趣味はアニメを見ることと音楽を聞くことです！

鍾苗苗 (しゅうみょうみょうさん)

日本の文化に興味があります。映画、テレビドラマ、アニメを鑑賞することが趣味です。日本語と簿記の勉強を頑張りたいです！

呉煥 (くれんさん)

日本で暮らすことが出来るので、留学は貴重な体験だと思います。たくさん日本語を学びたいです。趣味は映画を見ることです。ボランティア活動も参加します！

短大・専攻科429名、 グランシアタで入学式

第55回入学式・第37回専攻科入学式を4月2日(木)、iichiko総合文化センターグランシアタで執り行いました。短大に378名、美術科80名、音楽科48名、国際総合学科116名、情報コミュニケーション学科134名、専攻科には51名(造形専攻27名、音楽専攻24名)の計429名が入学しました。大分の芸術文化発信拠点の一つであるグランシアタでの式に、新入生、教職員とも決意新たなスタートとなりました。



フランス・シャンソンの魅力をテーマにヨーロッパ講座

芸短オーブンカレッジ「ヨーロッパ講座」をホルトホール大分で開催しました。フランス・シャンソンの魅力をテーマに、アンソステイチュ・ランセ九州のジャン・シャルル・シエンケール副館長が講演。1945年から現在までのシャンソンの歴史を、それぞれの世代の名歌手の歌声を聞きながら、ひも解いていきました。受講者らは真剣なまなざしで聞き入っていました。講演はフランス語で行われ、永田道弘准教授が通訳をしました。



アルゲリッチさん専用ピアノの「弾きこみ」

別府市に完成した「いきアルゲリッチハウス」。その間、マルタ・アルゲリッチさんの専用ピアノ「マルティータ」(愛称、スタインウェイ&サンズ社D274型)は大分市のiichiko総合文化センターグランシアタに保管されました。その至高の音色を保つために学生らが「弾きこみ」を行いました。参加した後藤早希さん(専攻科音楽専攻2年)は「出したい音があるのですが、それに応えてくれる楽器でした」と目を輝かせました。



新入生オリエンテーションを実施

新入生オリエンテーションを4月6日(月)〜8日(水)に実施しました。本学の教育目的や学生生活の心構え、科目の履修方法の説明、防犯講話のほか、学科に分かれて教員紹介や交流会などを行いました。教務学生部長の吉山尚裕教授は「みなさんは『生徒』ではなく『学生』になりました。自ら学ぶ、大人である、お客さんではない、という3つのことを自覚して下さい」と述べ、新入生を激励しました。



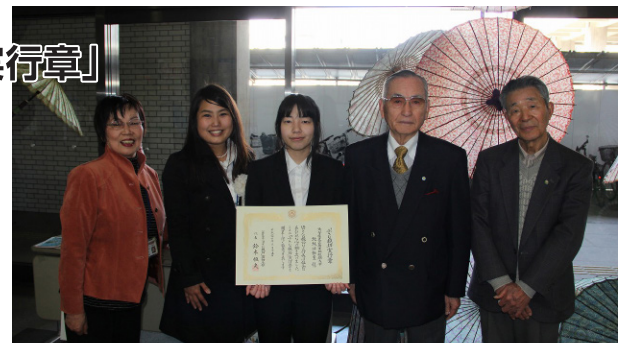
大分市美術展で大分市長賞

「第49回大分市美術展」で美術科メディアデザインコースの西山愛莉さんが「大分市長賞」を受賞しました(タイトル「母胎」)。写真作品。シートに包まれた友人の姿が被写体です。西山さんは「美しいと思うものを制作して、他の人にも美しいと感じてもらいたい。受賞は、その思いが伝わったものだと思います」と喜びを語りました。菅章・大分市美術館館長は「審査員、運営委員ともにたいへん評価の高い作品」と評しました。



クチナシの実の収穫手伝いに『小さな親切』実行章

学生たちが昨年から行っているクチナシの実の収穫のお手伝いが、公益社団法人「小さな親切」運動本部より「小さな親切実行章」として表彰されました。クチナシの実を育てる農家さんが減少するなか、大分市福宗岩下地区では、おばあちゃんがお一人で栽培を続けています。収穫時期はお一人でもまならないというお話を伺い、学生たちが向いていました。このクチナシの実は、臼杵の黄飯や法隆寺のお水取りに使われる櫓の造花の染色にも使われています。質のいい国産のクチナシの栽培が続いていくといいなと思います。



OPAM開館記念トークイベント

大分県立美術館(OPAM)の開館を記念した国際交流イベント「パリのミュージアムヨーロッパのアーカイブ」を開館翌日の4月25日(土)に本学で開催しました。出演は、パリ在住のアーティスト・コンサルタン、白羽明美氏。近代から現代にかけて、そして、ジャンルを超えた白羽氏の活動を中心に、新見隆・県立美術館館長と各々の仕事や活動、芸術と共にある生活について話しました。



OPAM小学生招待事業パンフレットを 学生がデザイン

大分の子どもたちがアートを楽しみアートを学びたいという気持ちや育んでもらうため、国内外の名画や名品が一堂にそろう開館記念展に県下の小学生6万人を大分県立美術館(OPAM)が招待。この事業の重要なアイテムとなるパンフレットのデザインを本学が依頼され、児童向けパンフレットと先生の指導用冊子という2種類の教材パンフレットを専攻科造形専攻ビジュアルデザインコースの1年生(現2年生)7名が制作しました。



春節祭への協力で14人に感謝状

日中友好事業「2015年春節祭INおおいた」への協力に対して、中華人民共和国駐福岡総領事、大分県日中友好協会理事長及び大分華僑華人会会長より国際総合学科2年生14人の各学生に2枚の感謝状が贈られました。出演者の誘導やタイムキーパーなどをした同科の山田正邦さんは「タイムスケジュール通りに動くこと」が大変でした。いろいろな大分の人と交流できて勉強になりました」と振り返りました。



竹田市から特別功労者表彰

竹田市合併10周年記念式典が4月4日(土)に行われ、中山欽吾学長が特別功労者表彰を受けました。旧下竹田小学校活用による竹田キャンパス運営をはじめ、大学連携による活動により、文化芸術部門において竹田市の地域づくりに積極的に参画。地域イベントにも学生が積極的に参加しており、



竹田キャンパス通信



ここ竹田キャンパスも、もう6年目を迎えております。合宿等 здесьを利用した学生達が、卒業後遊びによってくれたりして嬉しく思うとともに、月日の流れも感じています。卒業生が一時的な制作の場として利用することもあり、その作品が展覧会に入選したりと、芸短生がこれからどんどん大きく成長していく過程の中に必要な場としての存在を感じます。自然に囲まれたのびりのした環境の中ですので、本学とは違った雰囲気を楽しむことができます。学生の皆さんもどうぞ遊びに…もとい、学びに来てください。

(美術科非常勤講師 前田亮二)

※竹田キャンパスは、廃校となっていた下竹田小学校(竹田市直入町)を利用して、地域と密着したさまざまなアート活動を行っています。

活動報告

チューリップフェスタワークショップ

4月11、12、18、19日(場所:道の駅原尻の滝)

毎年恒例のチューリップフェスタで行われる手作りエコバッグのワークショップに行ってきました。今年も数名の学生にお手伝いをお願いして子ども達と楽しい時間を過ごしました。今年で4回目の参加となり、毎年来てくれる子ども達もたくさんいて、みんな一生懸命です。そんな子ども達姿を見ていると物作りの基盤を垣間見るような気がします。学生達もとても楽しく有意義な時間を過ごし、学校での学びとはまた違った経験を身に付けることができました。



学友会情報

今年度は1年生が3人加入しました。6月はスポーツ大会、7月には七夕祭と、夏のイベントがたくさんあります。新メンバーで芸文短大を盛り上げていくことに精進したいと思っています。まだまだメンバーを募集しているので興味がある方はお気軽にご参加ください。毎週火曜日の18:00から人文棟101教室に集まっています。



日々是精進

日頃の努力が、賞の受賞や商品化など結果に繋がった学生たちを紹介します。

◎東京藝術大学音楽学部声乐科に進学

藤延一平、牧山亮、佐藤克彦、西田幸里海

◎新人演奏会出演

〈読売新聞〉齊藤笑友子(Sop.)、吉元優喜乃(Pf.)〈アルゲリッチ音楽祭〉蒲原光(Pf.)、佐藤克彦(Ten.)、漆間夏希(Pf.)〈日本調律師協会九州支部〉中川千尋(Pf.)

◎日中友好事業「2015年春節祭INおいた」協力に感謝状

池田茜、池邊爽香、岩永愛、江藤嘉晃、永星文那、大戸七月、川上真由、工藤萌未、庄司万里奈、菅凜奈、寺本淳平、樋口彩、三代春菜、山田正邦(国際総合学科2年・14名)

◎Heart Art in TOKYO 2015

第18回エイズチャリティ美術展、STOP AIDS芸術功労賞／浦丸真太郎(専攻科造形専攻2年)

◎第19回大分市美術展

大分市長賞／西山愛莉(専攻科造形専攻1年)、大分市美術館賞／池田果鈴(同1年)

学内ギャラリー作品介绍(4、5月)

学内ギャラリーでは、美術科の学生の力作を展示しています。午前9時から午後6時まで一般公開しています。学外からお越しの際は、大学事務局にお声掛けください。

※6月以降の予定は裏表紙のEvent Calendarに掲載しています。



「Product Design Review 2014」

デザイン専攻
プロダクトデザイン



「バンナコッタマラケシュ次元DQT」

専攻科造形専攻2年
敷地杏奈、池田紗弓、西島朋恵、澤田真綺



「そとみとなかみ」

美術専攻2年
小川有希



「VIEW ～22人の視点～」課題作品展

デザイン専攻
ビジュアルデザイン2年



「Matsu Tomo Giga ～2Dと3Dの世界～」

デザイン専攻2年
松本智明



「空に向かって唾を吐け」

デザイン専攻2年
後藤世奈

サービスラーニング報告

「大学で学んだことを地域で生かし、地域で活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービスラーニング。“単なるボランティア”では終わらない、自主性・論理性・協調性のある「社会人力」を育成するプログラムを組んでいます。今回の報告のほかにも、様々な活動を行っています。

※サービスラーニングの詳細は、<http://oitapc-cis.jp/> または<https://www.facebook.com/oitageitan.jyoucom>をご覧ください。

赤い羽根「共同募金、感謝のつどい」で活動発表



美術科の学生がデザインしたボールペンを使って、多くの方に募金への協力を呼びかける「赤い羽根ボールペン応援プロジェクト」の結成や、毎週木曜日の共同募金についての勉強会の実施などを報告

しました。自分たちに何ができるのかを話し合い、活動計画を立てていることやfacebook・インターネットTVを活用して情報発信を行っている現状についても話しました。

上野の森の会と清掃や整備活動



大分市中心部に近い上野の丘に豊かな森が広がっています。でもこの森、手入れをしないと藪が広がって薄暗い人の入らない森になってしまい、ゴミが捨てられたり木が倒れたり危険な森になってしま

います。上野の森の会は、周辺住民の方々や上野の森に関心を持つ人々が専門家と話し合いながら活動を行っています。新学期の4月26日は40人以上の学生が参加、森の清掃や整備を手伝いました。

第90回あしなが学生募金に参加

毎年春と秋に行われているあしなが学生募金活動が、この春も行われました。あしなが学生募金事務局が主催し、全国の遺児を支援する募金を集めています。景気は回復と言われながらも、子どもの8人に1人が貧困の状態です。親を失った上に自分の夢をあきらめなければならない子どもたち。私たちに何ができるかがテーマです。



高崎山森林セラピーロード山開きに参加

本学から6名の学生が参加し、森林セラピーを体験しました。山頂上では、神事が執り行われ、参加者に記念品を配りました。その役目をお手伝いしました。また、下りながらゴミ拾いを行いました。



芸短オープンカレッジにおじゃまします！

楽しい趣味からビジネススキル向上を目指すものまで、さまざまな講座が揃った「芸短オープンカレッジ」。今回は、「石彫講座(レリーフ制作)」の教室におじゃましてきました。

〈石彫講座(レリーフ制作)〉

毎週金曜日の17時～20時。灰石の板材に、ノミを使ってレリーフを制作します。初めての方でも丁寧に指導いたします。※前期石彫講座の申込みは終了しています。後期講座のご案内は8月中旬頃にチラシ、本学HPにてご案内いたします。



受講者にお話しをお伺いしました。

- 受講のきっかけは？
「石彫」の珍しさからです。滅多に習えないので、チャンスだと思いました。
- 受講してみたいか？
とにかく面白いです。どんな風に仕上がるのか、やってみないと分からないところがいいです。個性的な作品にしたいです。
- 先生の印象は？
芸術家だと思います。とても刺激になります。

教室には、石を彫る音が心地よく響いていました。講師の浅野徳三先生は「日に日に石の性質が分かってきて、形が出来上がるのが魅力です。みなさん夢中になって、3時間があっという間だと言いますよ」と話します。古代文明の模様など、モチーフの選び方も教わります。芸術活動しながら歴史に思いを馳せることができる講座です。



学長 中山 欽吾

「新しい」ことへ大いなる期待

今年の春は、本学にとっても関係がある「新しい」ことが複数あります。まずは、初めて入学式をiichiko総合文化センターで行いました。本学と県文化ゾーンの密接な関係をこのような形で示したのですが、今年はその他にも本学にとって無関係とは言えない大きな「新しい」ことがあるのです。

大分市の中心街で、市内の人の動きが変わるほどの人の流れを左右する大きな変化が起きています。一つはOPAM(大分県立美術館)の開館、今一つが駅ビルオープンです。本学の学生にとっても、様々な利便性が考えられます。

今までも、各学科で市内の様々な商店街のイベントや街興しに協力してきましたが、新美術館の広報に関しても、美術科学生の制作したマップや、子供向けの企

画に美術科の学生のアイデアが活かされるなど、本学との連携が深まりつつあります。

そして最大の「新」は芸術系の施設改築を伴う大改修と言えるでしょう。本学が短大として競争力を維持するために計画されたこの事業は、老朽化した既存建屋の保修繕や改築などが予定されているのです。これから、具体的な計画が策定され、予算化されることになっていますが、学生の利便性や芸術緑丘高校との高大連携を考えて、キャンパス中心への食堂や集会場、ギャラリーを併設する音楽ホールの新設などが起案され、外部からの大型車両のアクセスが可能となる出入り口の新設や、駐車場の移転なども含めた大掛かりな工事になる予定です。大いなる期待を持って、大事業に臨みたいと考えています。

ゲイタンを体験! オープンキャンパス

毎年2回開催するオープンキャンパスは、芸文短大の魅力をギュギュッと凝縮!学科ごとに様々な体験ができます。

7月19日(日)・9月13日(日)
13:00～17:00(受付12:00～)

※美術科は、10:00～自由に施設内や展示作品を見学することができます。



美術科



美術絵画室やデザイン実習室などの学内施設を見学。アート&デザインのミニギャラリーも実施。持参作品の講評も行います。

音楽科



学科説明と教員紹介に加え、学生によるミニコンサートを開催。入試相談や希望者は施設内見学も可能です。

国際総合学科

学科紹介や在学生によるキャンパスライフ紹介、楽しいミニ講義を実施。ネイティブ教員と接する語学体験や国際活動を知るコーナー、個別相談のできる入試・学生生活相談コーナーも。



情報コミュニケーション学科

ビデオによる学科紹介をはじめ、ミニ講義を実施。メディア体験や情報処理演習室利用体験、不思議心理体験など楽しいプログラムがもりだくさん。在学生との対話では、学生の“生の声”を聞くことができます。



夏期講習会

美術科

美術科実技公開模擬試験を開催します。

- 日時** 7月19日(日) ※オープンキャンパス午前中
9:00～12:00/作品講評12:00～12:30
- コース** ◎模擬試験コース(専攻選択):美術専攻・デザイン専攻
◎デッサン入門コース(共通)
- 対象** 高校生以上(社会人も可)
- 定員** 各コース・専攻15名程度 ※応募多数の場合は、抽選となります
- 受講料** 800円
- 申込締切** 7月6日(月) 当日消印有効
- 申込方法** 住所・氏名・年齢・電話番号・希望コース(模擬試験コース(美術専攻・デザイン専攻のどちらかを選択)またはデッサン入門コース)を明記のうえ、電子メール、往復はがきのいずれかで申し込み下さい。電話での受付は行っておりません。
- 申込先** ◎電子メール fine-art@oita-pjc.ac.jp
◎往復はがき 〒870-0833 大分市上野丘東1-11
大分県立芸術文化短期大学
美術科美術専攻副手室
- お問い合わせ** 美術科 美術専攻副手室
TEL097-545-8548または097-545-8641
※詳細は本学HPをご覧ください。

音楽科

音楽科に進学を希望する受験生のための講習会です。

- 日時** 1回目 7月18日(土)・19日(日)
9:00～17:50
2回目 9月12日(土)・13日(日)
9:00～17:50
- コース** 1回目/声楽・ピアノ・指揮・理論・作曲・管弦打(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・打楽器)を予定。
2回目/同上。管弦打は上記楽器のほか、トロンボーン、ユーフォニウム、チューバも募集予定。
※管弦打については、楽器により実施日が異なります。
音楽基礎科目: コールユーブンゲン・視奏・視唱の講習も行います。
- 受講料** 4,500円(45分間のレッスンと希望者のみ音楽基礎科目)
- 申込と締切** 1回目6月30日(火)/2回目は8月1日(土)より募集を開始、締め切りは管弦打が同14日(金)、その他は同28日(金)を予定。
- お問い合わせ** 音楽科 副手室 TEL:097-545-8758
※詳細は本学HPをご覧ください。

公開授業 & 芸短オープンカレッジ

本学では、社会全体の学習ニーズの高まりに応え、地域社会に幅広い生涯学習の機会を提供することを目的とした「公開授業」と「芸短オープンカレッジ」を開講しています。「公開授業」は、大学の講義を県民のみなさまに公開して、学生と机をならべて学んでいただくという制度です。「芸短オープンカレッジ」は、日々の生活がちょっとだけ贅沢になるような趣味の講座をはじめ、ビジネススキルアップを目指す実践的な講座まで、本学ならではの個性的な講座を多数取り揃えております。「公開授業」は8月初旬からお申し込み受付開始、「芸短オープンカレッジ」は、現在以下の講座でお申し込みを受け付けております。「公開授業」「芸短オープンカレッジ」の詳細は、本学HPをご覧ください。

「芸短オープンカレッジ」現在募集中の講座

- 声楽グループレッスン
- 声楽個人レッスン
- 中級・上級ピアノ講座
- カッティングマシンによるステッカーづくり
- パソコン実践力アップ講座 ワープロ(Word)コース
- 名作に学ぶ映画鑑賞
～新・午前10時の映画祭を十倍楽しむ～
- パソコン実践力アップ講座 表計算(Excel)コース
- 3Dモデリング&3Dプリンターによる成形
- LEGOロボットプログラミング

お問い合わせは、「公開授業」「芸短オープンカレッジ」担当(TEL:097-545-0542)まで、お気軽にお電話ください。

Event Calendar

6月 June

- 1日(月)～ 学内ギャラリー「film color」
7日(日)
8日(月)～ 学内ギャラリー「『Tsumori』展」
15日(月)
16日(火)～ 学内ギャラリー「青二彩」
23日(火)
24日(水)～ 学内ギャラリー「なみ(仮)」
7月2日(木)

7月 July

- 3日(金)～ 学内ギャラリー「課題作品展示」
10日(金)
8日(木) 芸短音楽科コンサートシリーズ No.79「公開研究発表Ⅰ」
芸短音楽科コンサートシリーズ No.80「公開研究発表Ⅱ」
9日(木)
16日(水)～ 学内ギャラリー
22日(水) 「卒業制作展」
18日(土)～ おおいたトイレナーレ2015
9月23日(水・祝)
18日(土) 音楽科 夏期講習会
19日(日) 第1回オープンキャンパス
19日(日) 美術科 夏期講習会
19日(日) 音楽科 夏期講習会
23日(木)～ 学内ギャラリー「課題作品展示」
31日(金)

8月 August

- 10日(月)～ 夏期休業

9月 September

- 10日(木)～ 学内ギャラリー「メディアBコース」
18日(金)
10日(木) 音楽科地域巡回演奏会
11日(金) 音楽科地域巡回演奏会
12日(土) 音楽科 夏期講習会
13日(日) 第2回オープンキャンパス
13日(日) 音楽科 夏期講習会
16日(水) 芸短音楽科コンサートシリーズ No.81「若さあふれるコンサート」
18日(金)～ 「ideal FIT」(アイディアルフィット)
27日(日)
24日(木) 後期履修登録開始
※各イベントは変更になる場合があります。

イベント予告

※おおいたトイレナーレ2015※ まちなか発見マンガプロジェクト

7月18日(土)から大分市中心市街地で始まる、トイレを舞台・テーマにしたアートプロジェクト「トイレナーレ」。美術科・専攻科の学生たちは「まちなか発見マンガプロジェクト」の作品制作をしています。「まちなか発見マンガプロジェクト」は大分の良さ、街の中の目立たない景色などに着目。ストーリーを創りマンガ化します。期間中、約15名の学生のマンガ作品を集めた冊子を中心市街地に配置し、読んでもらう計画です。若い人達に、親しみやすいマンガで大分の街の面白さを伝える企画です。専攻科造形専攻2年の佐藤瞳さんは「大分の面白さ、好きな光景を伝えられる」と意気込んでいます。冊子の完成が楽しみです。



企画書を基にマンガを描く佐藤さん